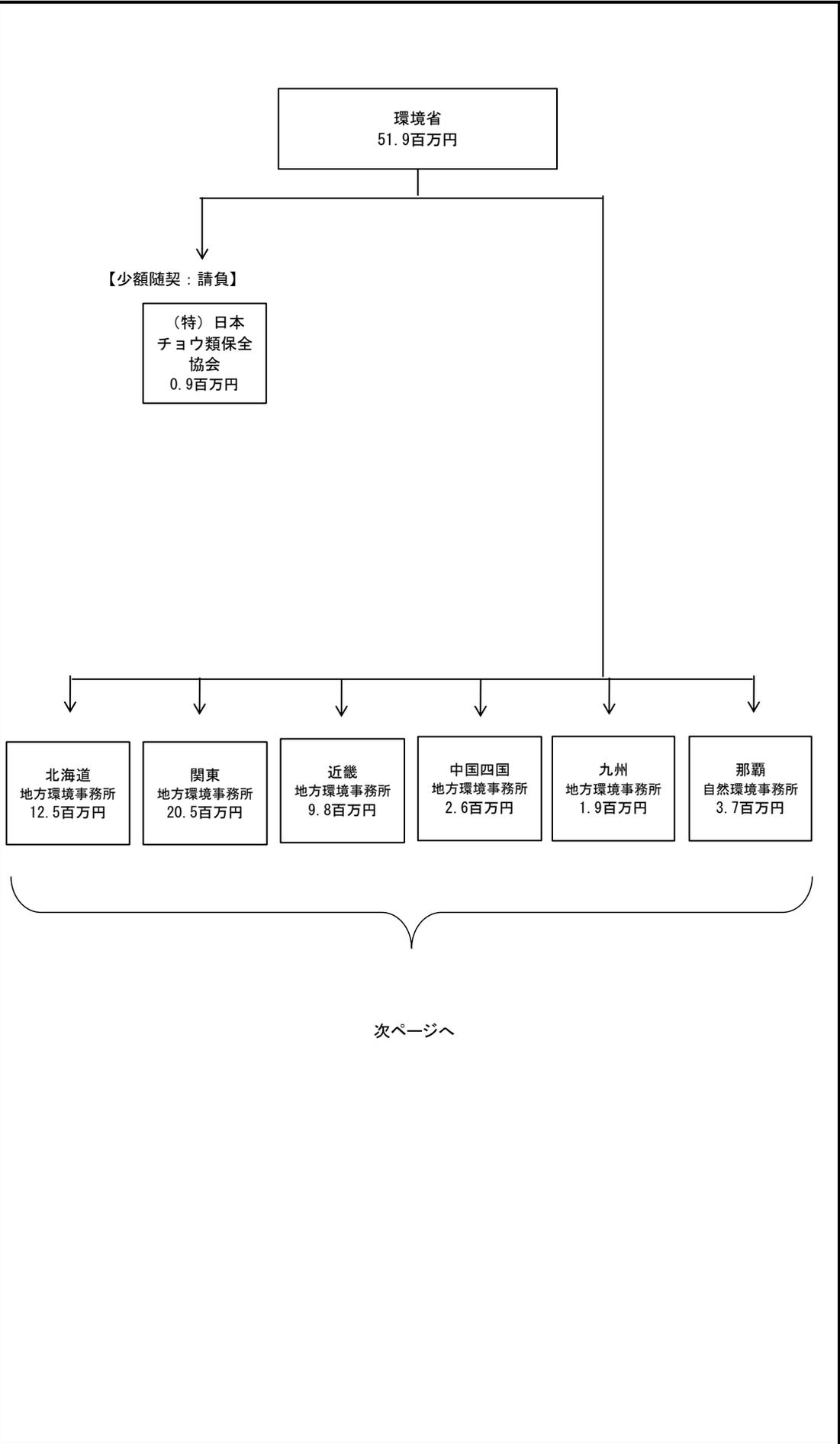


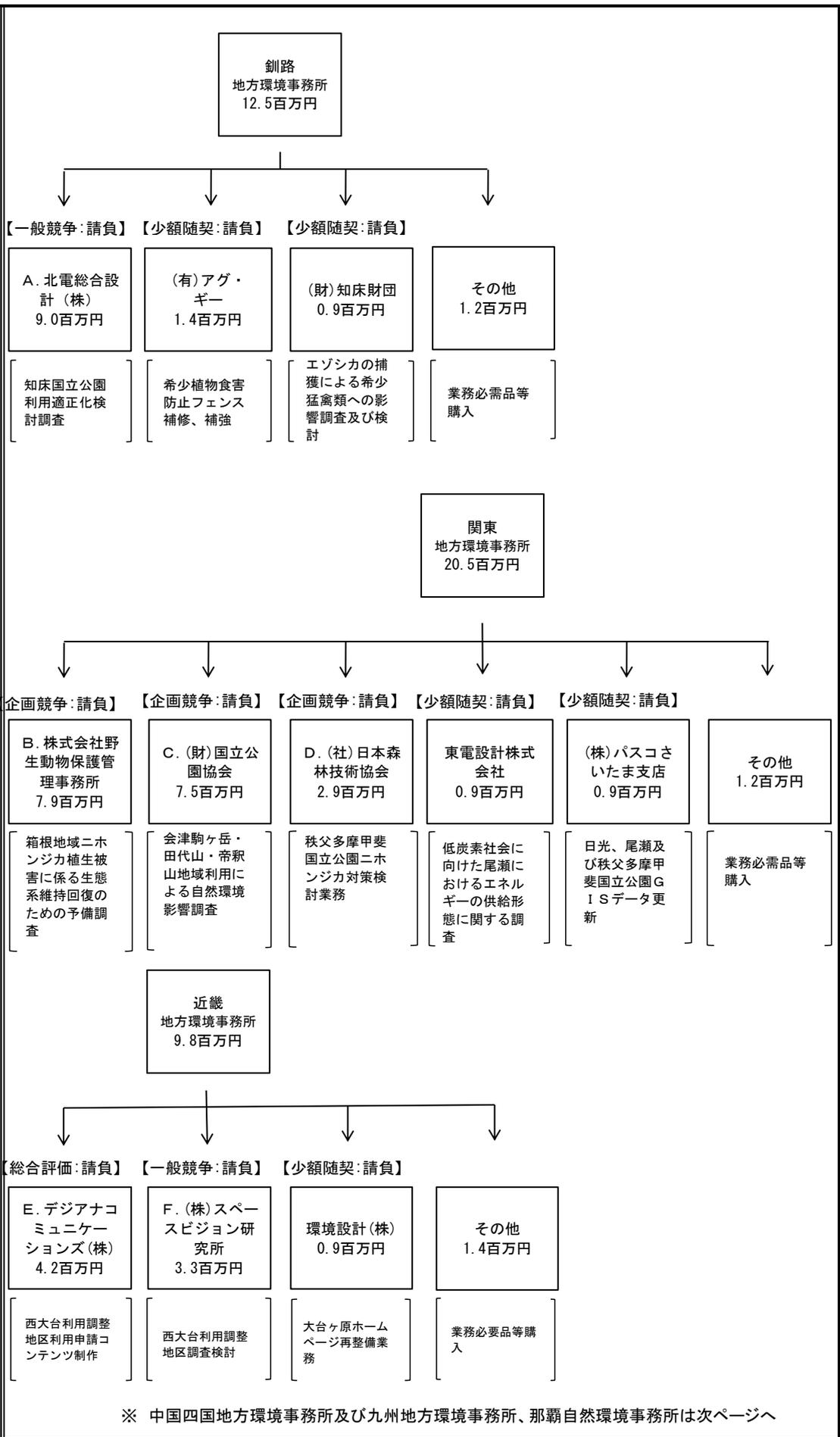
行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	国立公園内生物多様性保全対策費		事業開始年度	平成15年度		作成責任者
担当部局庁	自然環境局		担当課室	国立公園課		課長 上杉 哲郎
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第2条第7号、第3条2項、第9条、第20条第3項、第38～42条		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	我が国を代表する自然地域である国立公園内において、生物多様性の保全を推進することは急務であるが、従来の規制的手法では限界もある。このため、各国立公園において希少種生育・生息地の保全対策や地域外来種駆除等の地域生態系の維持管理、利用調整等の取り組みを、調査によって得られた科学的知見を基に効率的に実施する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国立公園内において減少している希少動物について調査を行って指定動物への指定を推進し、指定後の監視体制や生息地管理等により、国立・国定公園内の指定動物の減少を防止する。②国立公園内の保護上重要な地域において、地域外来種の侵入などによる生態系への影響を排除し、生物多様性の保全を適切に行うため、調査を行ったうえで生態系維持回復事業計画を策定し、それに基づき対策を講じることにより、希少種や健全な生態系の保全を図る。③利用者による過剰な利用により地域の生物多様性への影響が問題になっている地域について、利用調整地区制度の活用などによりその緩和を図るための調査や合意形成を図る。					
実施状況	①9つの国立・国定公園で9種の動物を指定動物に指定するとともに、これらの種の生息状況の把握、保全事業等を実施した。平成21年度では、ミヤマシロチョウ・ウスイロヒョウモンモドキ等の希少昆虫類や屋久島等のウミガメについて、保全対策の推進のため調査を実施し、今後の課題等を含めたとりまとめを行った。 ②平成21年度は、白山や箱根において、地域外来種の侵入対策など、地域の生物多様性保全のための地域管理について検討を行った。特に、白山においては、生態系維持回復事業計画を策定見込みである。 ③平成21年度は、西大台において利用調整地区の導入・運用を行うとともに、知床等において利用調整地区等の導入・運用のための調査・調整を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	43	44	55	68	59
	執行額	39	43	52		
	執行率	91	98	95		
	総事業費(執行ベース)	39	43	52		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	環境省において、発注時よりその内容を把握しながら実施するとともに、対象国立公園を担当する地方環境事務所及び自然保護官が、当該事業の執行に際しては、期間全体にわたって指導・監督に努めており、用途の把握水準は確保されている。 特に、現地調査に関する連絡調整、会議開催内容等について事前指導を行った上で会議に出席するとともに、調査実施前には時期、内容、体制等の調査計画や使用する備品等についても確認し、必要な助言・指導を行っている。				
	見直しの余地	地域外来種の侵入や密猟者による乱獲、利用者の集中などによる生態系被害は毎年深刻化しており、生態系に配慮した高度な自然とのふれあい方策として、利用調整地区又は立入規制地区の指定や利用者負担制度を含む営造的保全管理手法の導入を検討していく必要があるため、効率的に利用状況のモニタリングを行うとともに、利用制限も含めた管理手法の検討を行うことが有効。指定動物の指定、生態系維持回復事業計画の策定・事業の実施、利用調整地区の指定・管理については順調に指定・策定数の増加、管理の実施が行われており、成果が上がっている。また、引き続き、効率的・効果的な事業の実施に努める。				
化予 算 監 視 の 所 効 見 率	一部改善  (外来動植物種の駆除等の取り組みの継続が必要であるが、引き続き効率的・効果的な事業の実施に努めることとする。)					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

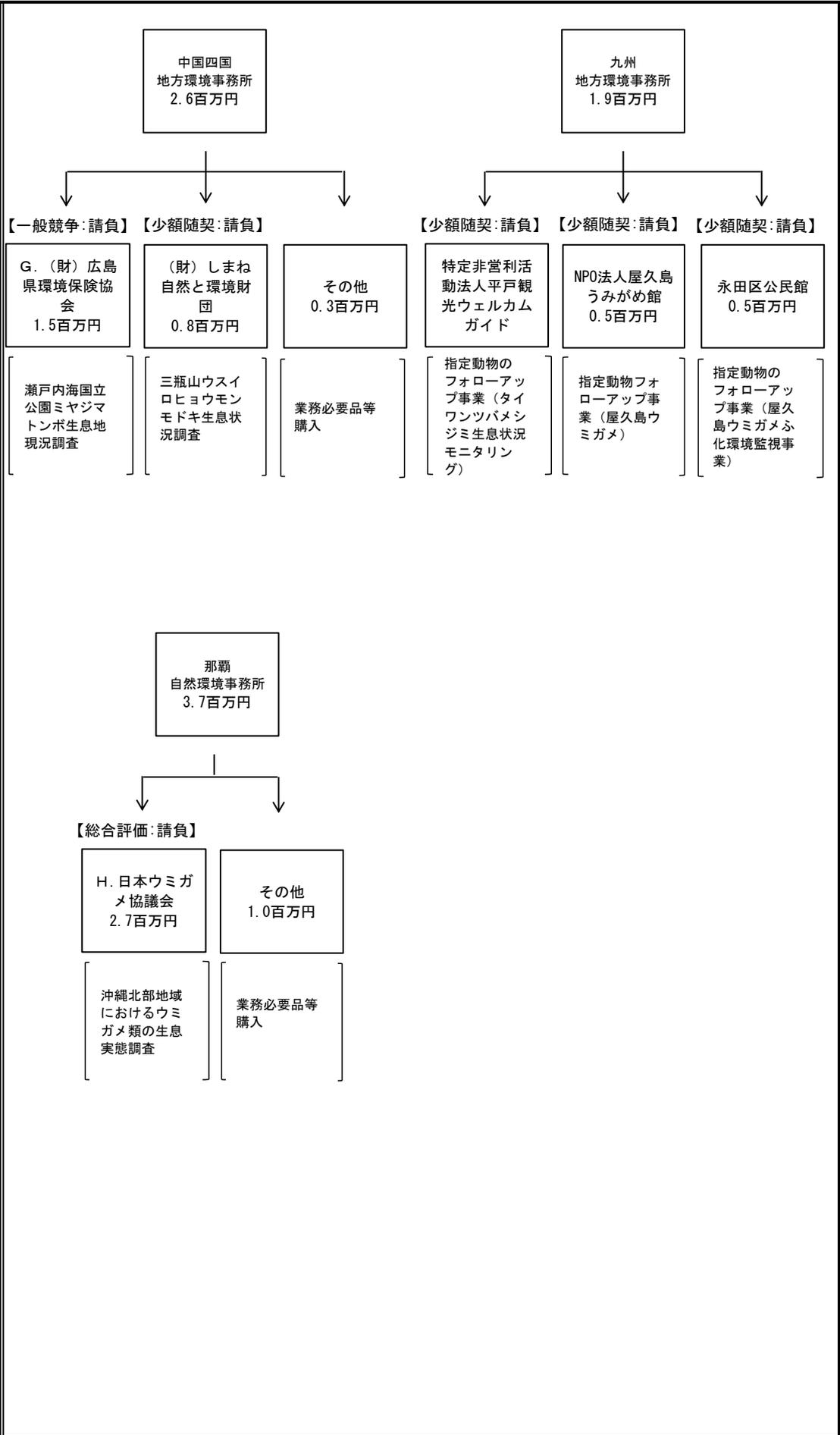


資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて補  
 足する)  
 (単位:百万円)



※ 中国四国地方環境事務所及び九州地方環境事務所、那覇自然環境事務所は次ページへ

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて補  
 足する)  
 (単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。使途  
 と費目の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)

A. 北電総合設計(株)			E. デジアナコミュニケーションズ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	知床国立公園利用適正化検討調査業務	9	雑役務費	西大台利用調整地区利用申請コンテンツ制作業務	4
計		9	計		4
B. 株式会社野生動物保護管理事務所			F. (株)スペースビジョン研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	箱根地域ニホンジカ植生被害に係る生態系維持回復のための予備調査	8	雑役務費	西大台利用調整地区調査検討業務	3
計		8	計		3
C. (財)国立公園協会			G. (財)広島県環境保険協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	会津駒ヶ岳・田代山・帝釈山地域利用による自然環境影響調査	8	雑役務費	瀬戸内海国立公園ミヤジマトンボ生息地現況調査業務	2
計		8	計		2
D. (社)日本森林技術協会			H. 日本ウミガメ協議会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	秩父多摩甲斐国立公園ニホンジカ対策検討業務	3	雑役務費	沖縄島北部地域におけるウミガメ類の生息実態調査業務	3
計		3	計		3
D. (社)日本森林技術協会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	秩父多摩甲斐国立公園ニホンジカ対策検討業務	3			
計		3	計		